T&D
T&D保険グループ

交付運用報告書

デジタルヘルス株式ファンド

商品分類(追加型投信／内外／株式)

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「デジタルヘルス株式ファンド」は、2024年４月11日に第３期決算を行いました。

当ファンドは、ルクセンブルク籍投資法人「CS・インベストメント・ファンズ 2」のサブファンドである「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」が発行する外国投資証券への投資を通じて、世界各国(日本を含む)のデジタルヘルス企業の株式等に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第３期(決算日　2024年４月11日)
作成対象期間：2023年４月12日～2024年４月11日

第３期末（2024年４月11日）	
基準価額	7,786円
純資産総額	1,141百万円
第３期	
騰落率	20.1%
分配金合計	０円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

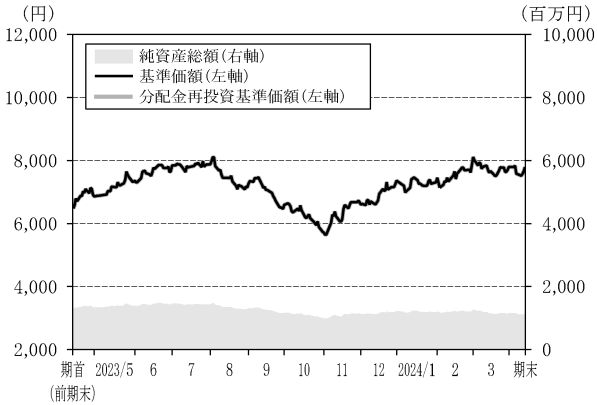
当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
右記ＵＲＬ⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108－0014　東京都港区芝５－36－７
お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

運 用 経 過

基準価額等の推移



第３期首 ： 6,481円
第３期末 ： 7,786円(既払分配金０円)
騰 落 率 ： 20.1%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年４月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」において、世界のデジタルヘルス企業の株式等に投資を行い、主に中小型のデジタルヘルス関連企業の株価が上昇したことが基準価額上昇の要因となりました。

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス	22.3%
マネーアカウントマザーファンド	△ 0.1

１万口当たりの費用明細

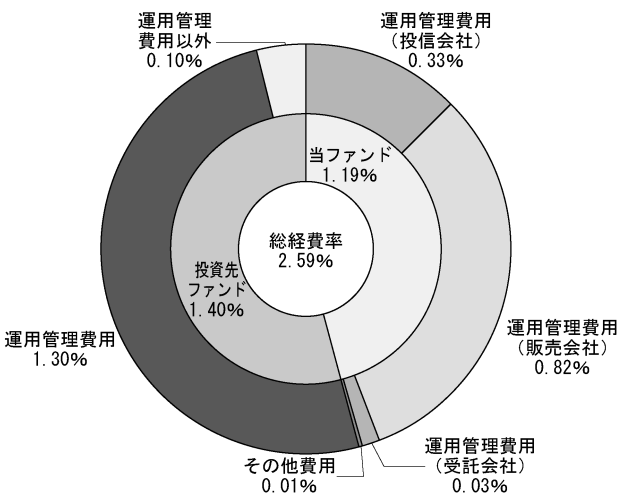
項目	当期 2023/４/12～2024/４/11 金額	比率	項目の概要
平均基準価額	7,235円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	86円	1.188%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(24)	(0.330)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(60)	(0.825)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.033)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.015	(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	87	1.203	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。
(注) 「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

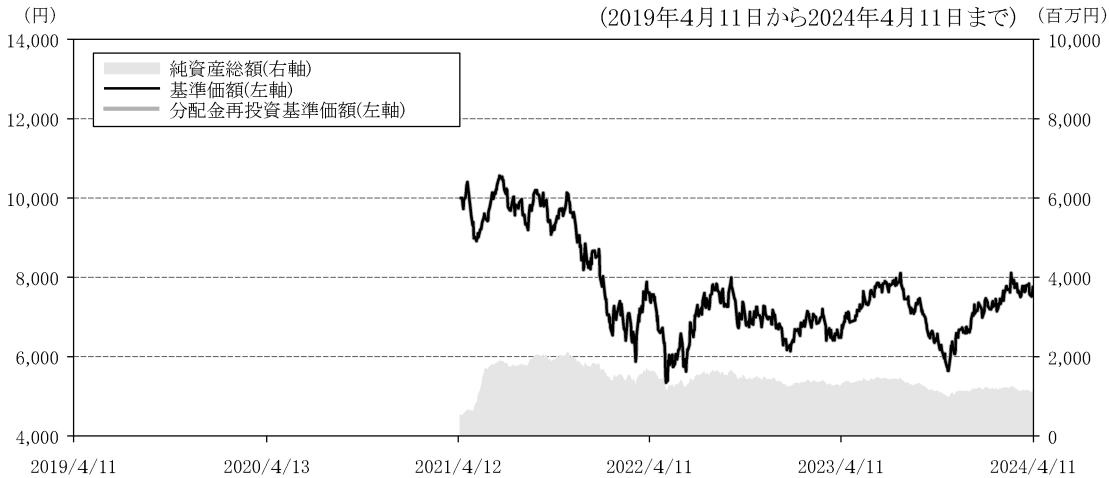
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(１口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.59%です。



総経費率 (①+②+③)	2.59%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。
(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注）分配金再投資基準価額は、設定日(2021年４月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2021年４月16日 設定日	2022年４月11日 決算日	2023年４月11日 決算日	2024年４月11日 決算日
基準価額(分配落)　(円)	10,000	7,613	6,481	7,786
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	△ 23.9	△ 14.9	20.1
MSCI オール・カントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)騰落率　(%)	－	15.2	△ 0.3	41.1
純資産総額　(百万円)	529	1,650	1,275	1,141

（注）ＭＳＣＩ オール・カントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)【出所：ＭＳＣＩ】は当ファンドの参考指数です。
（注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

＊ＭＳＣＩ オール・カントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)【出所：ＭＳＣＩ】
「ＭＳＣＩ オール・カントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)は、ＭＳＣＩが発表している株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をＭＳＣＩは何ら保証するものではありません。その著作権はＭＳＣＩに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

投資環境

■ 株式市況

当期のグローバル株式市場は上昇しました。期初から2023年６月にかけては、米ファースト・リパブリック・バンクが破綻し、金融危機への懸念が高まったこと等は一部相場の重しとなりましたが、米半導体大手エヌビディアの好決算を受けて、ハイテク関連銘柄が軒並み上昇し、投資家心理が改善したこと、６月ＦＯＭＣ(米連邦公開市場委員会)でＦＲＢ(米連邦準備制度理事会)が利上げを見送ったこと、米国の景気後退懸念が和らいだこと等から、株価は上昇しました。10月前半までは、米コアＣＰＩ(消費者物価指数)や米コアＰＣＥ(個人消費支出)価格指数の伸びが鈍化するなかでも、ＦＲＢによる追加利上げへの警戒がくすぶり、株価は横ばい圏での推移となりました。10月後半以降は、ＦＲＢによる利上げサイクル終了や早期利下げ期待が高まったこと、業績への期待からハイテク関連銘柄が急上昇したこと等を材料に、株価は上昇基調となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、期首の△0.30％から期末は△0.00％となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」を概ね高位に組入れ、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。

■ クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス

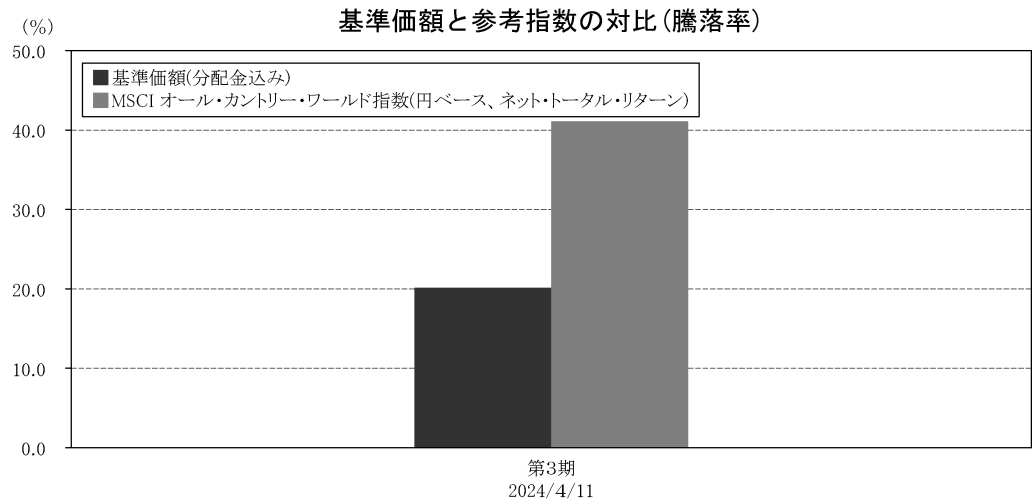
従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った、革新的なテクノロジーを持つデジタルヘルス企業に投資を行いました。銘柄選択にあたっては、ヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つピュア・プレイヤー(収益の50％以上をデジタルヘルス分野から上げる企業)を投資対象として、ボトムアップでのファンダメンタルズ分析に基づき、長期的な観点で確信度の高い銘柄へ選別的に投資しました。ポートフォリオの組入銘柄数は60銘柄程度としました。

■ マネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組入れを見送っておりましたが、2024年３月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



分配金

１万口当たりの分配金(税込み)は、分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

(単位：円・%、１万口当たり・税引前)

項目		当期 2023年４月12日 ～2024年４月11日
当期分配金		0
	(対基準価額比率)	－
	当期の収益	－
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

■ クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス

デジタルヘルスの投資テーマは今後長期にわたって世界で注目され続ける分野であること、また、世界の医療システムに対するコスト圧力は依然として高まっており、そしてより良い改善が必要であり、新しいデジタル・テクノロジーの革新は進展半ばにあります。また、各国の規制当局と政府からは「医療でより多くのテクノロジーを導入する」という後押しが続くと考えています。当ファンドにおいては、ヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つピュア・プレイヤーに選別投資を行う方針です。

■ マネーアカウントマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。日銀はマイナス金利政策の解除を行いましたが、依然として緩和的な姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

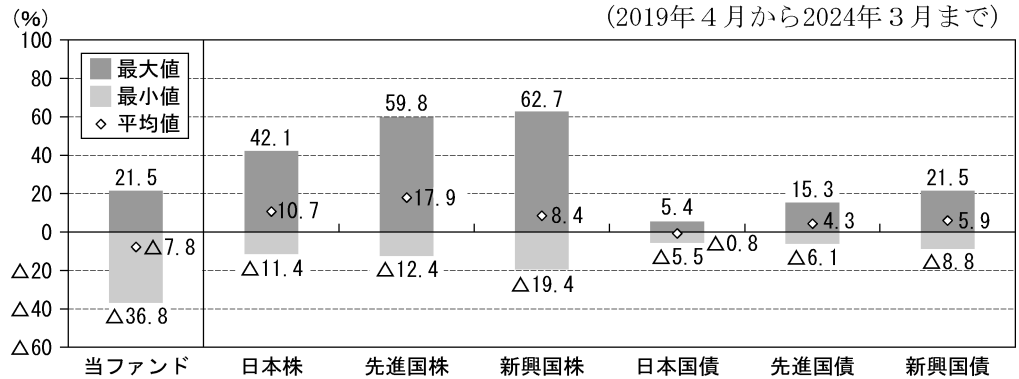
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

<table>
<tr><td>商品分類</td><td colspan="2">追加型投信／内外／株式</td></tr>
<tr><td>信託期間</td><td colspan="2">2021年４月16日から2026年４月13日まで</td></tr>
<tr><td>運用方針</td><td colspan="2">信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。</td></tr>
<tr><td>主要運用対象</td><td colspan="2">ルクセンブルク籍投資法人「CS・インベストメント・ファンズ 2」のサブファンドである「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」が発行する外国投資証券「EB JPYクラス」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。
<table>
<tr><td>クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーＥＢ　ＪＰＹクラス</td><td>世界各国(日本を含む)のデジタルヘルス企業の株式等(世界各国の預託証券および株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証書等を含みます。)を主要投資対象とします。</td></tr>
<tr><td>マネーアカウントマザーファンド</td><td>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>組入制限</td><td colspan="2">投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
株式への直接投資は行いません。
外貨建資産への直接投資は行いません。
有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。</td></tr>
<tr><td>分配方針</td><td colspan="2">毎決算時(４月11日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。
分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
ただし、必ず分配を行うものではありません。</td></tr>
</table>

【 参 考 情 報 】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2019年４月から2024年３月の５年間の各月末における直近１年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
(注) 当ファンドは2021年４月16日に設定されたため、2022年４月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(ＴＯＰＩＸ)(配当込み)※1
先進国株・・・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)※2
新興国株・・・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)※3
日本国債・・・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債※4
先進国債・・・ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)※5
新興国債・・・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド(円ベース)※6
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数(ＴＯＰＩＸ)とは、株式会社ＪＰＸ総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。ＴＯＰＩＸに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研に帰属します。
※2 ＭＳＣＩコクサイ・インデックスはＭＳＣＩが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※3 ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※4 ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるＴ＆Ｄアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
※5 ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※6 ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はＪＰモルガン社に帰属します。

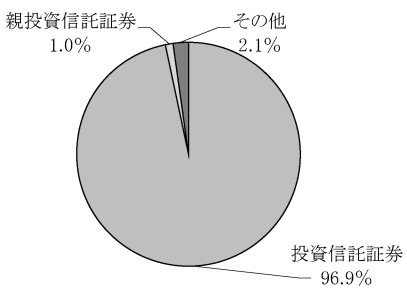
当 該 投 資 信 託 の デ ー タ

当該ファンドの組入資産の内容

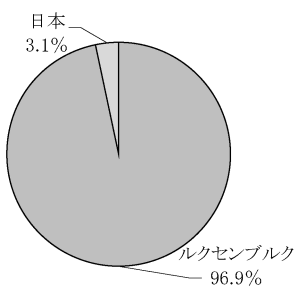
■ 組入(上位)ファンド(銘柄)

銘柄名	当期末 2024年４月11日 比率
クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス	96.9%
マネーアカウントマザーファンド	1.0
その他	2.1

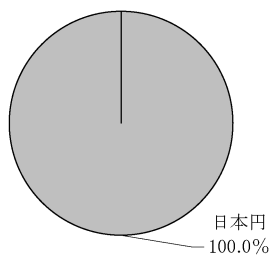
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入(上位)ファンド(銘柄)および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

純資産等

項目	当期末 2024年４月11日
純資産総額	1,141,991,590円
受益権総口数	1,466,764,085口
１万口当たり基準価額	7,786円

(注) 期中における追加設定元本額は83,496,076円、同解約元本額は584,563,783円です。

組入上位ファンドの概要

クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-EB JPYクラス (2022年6月1日から2023年5月31日まで)

■ 基準価額の推移

■ １口当たりの費用明細

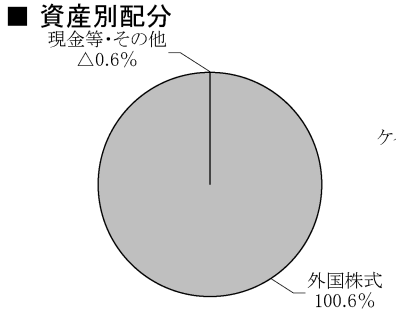
１口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

以下は、「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」の状況です。

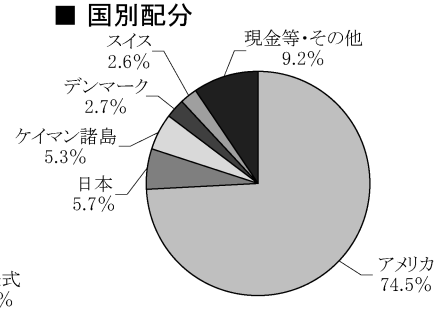
■組入銘柄(株式)(上位10銘柄)　　(組入銘柄数:62銘柄)

銘柄名	通貨	比率
SCHRODINGER INC/UNITED STATES	USD	3.7%
SHOCKWAVE MEDICAL INC	USD	3.6
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	USD	3.6
10X GENOMICS INC -A-	USD	3.4
EXACT SCIENCES	USD	3.3
DEXCOM	USD	3.2
ZAI LAB LTD	HKD	3.2
VEEVA SYSTEMS A	USD	3.1
GUARDANT HEALTH INC	USD	3.0
ALIGN TECHNOLOGY	USD	2.9

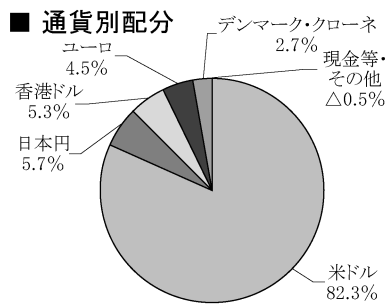
■ 資産別配分



■ 国別配分



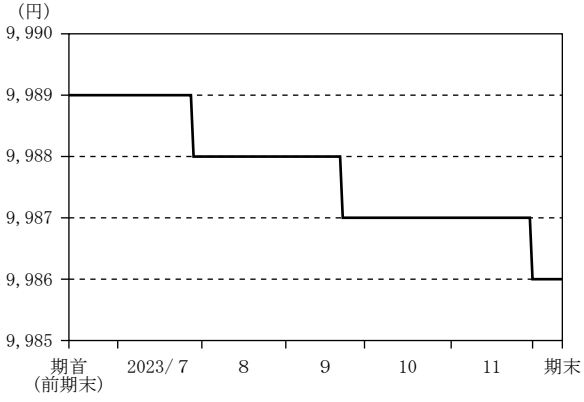
■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは監査報告書の入手可能な直近の決算日現在のものです。日付は現地基準日です。
(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。
(注) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は一部マイナス表示となっており、正確に表示されておりません。期末に組入比率が100%を上回ったのは、未払金等によりファンドの純資産総額が保有株式等の評価額を下回ったことが要因です。
(注) 組入銘柄および各配分はクレディ・スイス・アセット・マネジメント(スイス)エイジーより入手した「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」の監査報告書および保有明細をもとに作成したものです。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

マネーアカウントマザーファンド　(2023年６月13日から2023年12月11日まで)

■ 基準価額の推移



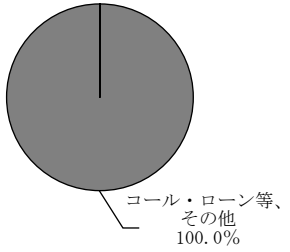
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

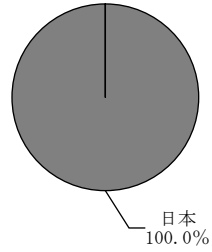
■ １万口当たりの費用明細

計算期間において発生した費用はありません。

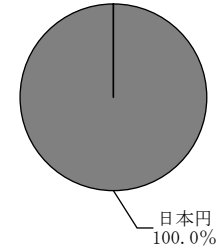
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。